

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」西区全体計画進行管理票

資料1

<基本目標1 私たちが支えあい、助けあう地域づくり>

No	取り組み	取り組み内容	担当部署	目標値 (H32)	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	事務局 コメント・課題等	委員会 コメント・課題等
1	地域包括ケアシステムの構築	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築に向けて、住民組織やボランティア団体、NPOなどの多様な主体による生活支援・介護予防サービスの創出を推進します。	西区健康福祉課 地域福祉係 高齢介護係 西区社会福祉協議会		モデル事業の実施 (市内26団体、西区3団体で実施)	西区支え合いのしくみづくり会議(協議体)の設置、生活支援コーディネーターの選出	西区の4つの生活圏域に、地域の関係者で構成する「支え合いのしくみづくり会議」を設置すると共に、支え合いしくみづくり推進員を配置した。	○住民主体の訪問型生活支援サービス・・・2か所 ○週1回開催の地域の茶の間・・・6か所 ○新規開設の地域の茶の間・・・10か所	支え合いのしくみづくり推進員や協議体などと連携し、引き続きコミ協や自治会などに丁寧な説明等を行い、更なる生活支援体制の創出に向けて取り組んでいく。	
2	高齢者を地域で支えるモデル事業	地域包括ケアシステムの構築と充実を図るため、住民組織やNPOなどが行う高齢者を地域で支える活動を支援します。また、事業の実施にあたっては、高齢者生活支援コーディネーターを配置し、地域資源の開発支援、ネットワークの構築などを推進します。	西区健康福祉課 地域福祉係		実施団体 (累計) 3団体	実施団体 (累計) 3団体 ※今後協議体で随時実施予定	※平成27年度をもって事業終了。今後は平成29年度からの介護予防・日常生活支援総合事業を活用していただくなど引き続き事業を継続していただく。		住民組織やNPOなどを主体として、高齢者を地域で支えるモデル事業を実施し、地域包括ケアシステムの構築につなげていきたい。	
3	高齢者等あんしん見守り活動事業	見守り支援体制に不安を抱えている自治会に対し、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどと協働で、地域の事情に合った見守り体制の構築を支援します。	西区健康福祉課 地域福祉係 西区社会福祉協議会	事業活用自治会 (累計) 50自治会	事業活用自治会 (累計) 11自治会	事業活用自治会 (累計) 17自治会			地域の見守り活動につながるよう、ご近所による見守りや声かけなど、地域でのつながりやささえ合いを支援できた。	
4	高齢者孤立防止訪問事業 (旧名称:「孤立ゼロ作戦訪問事業」 H29年度から変更)	75歳以上の高齢者のみ世帯で一人暮らしになった人を専門職が訪問し、保健指導及び孤立防止のための支援をします。	西区健康福祉課 地域保健福祉担当	介護保険サービスや民生委員・児童委員等との関わりのない全世帯を訪問	訪問世帯 384世帯	・年度内に新たに75歳以上となる単身世帯: 143世帯 ・介護サービス等を受給していない75歳以上のみ世帯: 459世帯	・年度内に新たに75歳になる単身世帯の熱中症予防訪問: 196世帯 ・介護サービス等を受給していない75歳以上のみ世帯: 訪問235世帯、郵送609世帯	①同居者の死別などにより一人暮らし移行者から包括のかかわりや介護保険利用者を除いた対象者157人 ②民生委員による情報提供対象者14人 合計163人に対し訪問等支援を実施。	・対象者163人中、孤立該当者12人、うつ項目該当者が17人であった。 ・専門職による受診勧奨や家族・地域との交流促進、あんしん連絡システムの利用のすすめなどを行い、孤立やうつ傾向の改善に向けた効果的な支援ができた。 ・課題として、80歳以上の高齢者は地域との交流を望まない、望んでも歩いて行ける茶の間がないなどがあった。	
5	子ども・子育て支援新制度の推進	「子ども・子育て関連3法」に基づく、幼児期の学校教育・保育や、放課後児童クラブなどの地域の子ども・子育て支援を総合的に推進します。	西区健康福祉課 児童福祉係 こども支援係		保育園 1園開園 放課後児童クラブ 2施設増設	保育園 3園開園 放課後児童クラブ 2施設増設 病児保育 1施設開設	保育園 2園開園 放課後児童クラブ 2施設増設	保育園 2園開園 放課後児童クラブ 2施設増設	子どもたちが地域の中で健やかに育つ環境整備に努めている。	
6	NPプログラム、BPプログラムなど、育児支援講座の実施	子育てに不安を感じている親同士が学ぶ講座を実施し、育児の不安、孤立感の軽減や仲間づくりを支援します。		参加者 50組	参加者 48組	参加者 80組	参加組 248組	参加組 170組	育児の不安、孤立感の軽減や仲間づくりの支援が図られている。	
7	西っ子ふゆまつり	新潟の冬を屋内で楽しく過ごしてもらうための様々な遊びや交流の場を提供し、子どもの健全育成及び子育て支援を推進します。	西区健康福祉課 こども支援係		参加者 3,800人	参加者 3,800人	参加者 2,600人 ※プレイベント除く	参加者 2,600人 ※プレイベント除く	西区の冬の一大イベントとして認知され、関係団体との連携も進んでいる。	
8	子ども(親子)の居場所づくり	コミュニティ協議会などの地域組織による子ども(親子)の居場所づくりを支援します。			実施団体 9団体	実施団体 9団体	実施団体 8団体 (1団体中央区へ移転)	実施団体 8団体	地域で子育てを支援する機運の醸成が図られてきている。	
9	子ども学習支援事業	生活困窮の状況にある世帯の中学生等を対象に、週2回学習会を開催します。新潟大学と新潟青陵大学の学生スタッフとともに勉強を進め、学習意欲を高め、高校進学を促進します。	西区保護課		学習会開催 103回 参加者 延べ867人	学習会開催 102回 参加者 延べ921人	学習会開催 101回 参加者 延べ1,010人	学習会開催 101回 参加者 延べ973人	・参加した中三生は全員高校へ進学しているなど、学習効果が表れている。 ・参加生徒の掘り起しや、学習面以外の「時間を守る」「挨拶」「返事」等の社会性を身に付けてもらうことが引き続き課題となっている。	
10	にいがた安心ささえ愛活動支援事業	地域福祉計画・地域福祉活動計画にあげられた課題の解決に取り組む団体に助成します。	西区健康福祉課 地域福祉係		事業活用団体 3団体	事業活用団体 4団体	事業活用団体 2団体	事業活用団体 1団体	類似補助事業の創設に伴い、平成29年度から新規の受付を停止、補助事業自体も平成30年度をもって廃止となる。	
11	区役所におけるぶれジョブの受け入れ	障がいのある子どもたちの仕事の体験の場「ぶれジョブ」を、区役所で実施します。	西区健康福祉課 障がい福祉係		受け入れ人数 3人	受け入れ人数 2人	受け入れ人数 1人	受け入れ人数 0人	平成29年度はぶれジョブの申し込みなし。	

No	取り組み	取り組み内容	担当部署	目標値 (H32)	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	事務局 コメント・課題等	委員会 コメント・課題等	
12	友愛訪問事業	見守りが必要な高齢者等の孤独感解消や安否確認を兼ねて、地域のボランティアや民生委員・児童委員が訪問します。	西区社会福祉協議会		実施団体 106団体 訪問世帯 1,455世帯	実施団体 111団体 訪問世帯 1,594世帯	実施団体 113団体 訪問世帯 1,617世帯	実施団体 116団体 訪問世帯 1,593世帯	地域での見守りの輪が広がるよう事業の趣旨を広報し、実施団体・訪問世帯数の増を目指す。		
13	おせち料理配食事業	友愛訪問対象者（見守りが必要な高齢者世帯等）に、12月30日に見守りを兼ねて訪問し、おせち料理を配ります。			配食数 1,656食	配食数 1,678食	配食数 1,452食	配食数 1,464食	友愛訪問実施団体の協力のもと、歳末時期の見守り活動として配食をしている。H28年度からは対象者2人以上世帯についても原則1個の配布に統一。		
14	敬老祝会助成事業	75歳以上の高齢者の長寿を祝う敬老祝会を実施する自治会やコミ協に対し助成します。			事業活用団体 50団体	事業活用団体 52団体	事業活用団体 54団体	事業活用団体 59団体	平成24年度の事業実施以来、年々波及効果により、微増ながらも申請自治会数が増加した。H30年度からは、申請受付窓口が社協から新潟市へ移行。		
15	地域ふれあい事業助成	自治会、町内会等の世代交流や高齢者等の生きがい推進につながる交流事業を助成します。			事業活用団体 67団体 121件	事業活用団体 68団体 122件	事業活用団体 71団体 128件	事業活用団体 77団体 135件	当事業を契機として、地域住民の交流活動の実施により、地域の繋がりが強化され、地域での見守り活動等への波及をねらう。		
16	元気力アップ・サポーター制度	高齢者がサポーター活動を通じて自身の介護予防の推進と社会参加を目的としたポイント還元制の事業です。			受入協力機関 62事業所 サポーター 230人	受入協力機関 76事業所 サポーター 318人	受入協力機関 81事業所 サポーター 398人	受入協力機関 87事業所 サポーター 476人	社会参加活動に関心のある高齢者が多く、サポーター数も増えている。これから活動先の拡大に伴い、今後も広報周知を試みる。		
17	地域の茶の間助成事業（ふれあい・いきいきサロン）	身近な地域で気軽に集まり交流する居場所づくりを支援します。			事業活用団体 50団体	事業活用団体 43団体	事業活用団体 52団体	事業活用団体 52団体	事業活用団体 63団体	平成29年度は、西区役所と協働し、地域の茶の間・サロン交流会を2回開催。生活支援コーディネーターなどで各茶の間・サロンを訪問し、地域の居場所状況把握に努めた。	
18	子育てサロン事業助成	子どもたちが一緒に遊び、交流する場、未就学の子どもを持つ親の情報交換、気分転換の場など、定期的に子育てサロンを実施している団体に助成します。			事業活用団体 12団体	事業活用団体 9団体	事業活用団体 6団体	事業活用団体 7団体	事業活用団体 9団体	平成29年度は、子育てサロンに特化した交流会を2回開催。他のサロンを見学し、日頃の工夫等を情報交換することで、各サロンの活性化を図る。	
19	まごころヘルプ事業	家事援助など日常生活支援を行う住民参加型のサービスです。			会員 463人 ヘルプ時間 7,125.5時間	会員 469人 ヘルプ時間 7,228.5時間	会員 463人 ヘルプ時間 6,684.5時間	会員 446人 ヘルプ時間 7,093.5時間	提供会員の高齢化等の課題はあるものの住民参加による有償福祉サービス（生活支援）の重要性をPRしながら、会員増強に努める。		
20	歳末たすけあい事業	歳末に地域コミュニティで行われる世代交流事業に助成します。			事業活用団体 61団体	事業活用団体 68団体	事業活用団体 61団体	事業活用団体 62団体	歳末たすけあい募金配分金を財源とした事業。予算の範囲内での助成事業であるため、広報周知による新規申請団体の開拓と合わせ、助成限度額の調整が必要。		
21	地域交流貢献事業（出前講座）	自治会、コミ協に職員が出向き、認知症サポーター養成講座や防災訓練などを実施します。			開催数19回 参加者 13,000人	開催数11回 参加者 280人	開催数 14回 参加者 400人	開催数 9回 参加者 450人	自治会等からの依頼により、実施。出前講座等を通して、市民力・地域力を引き出し地域づくりの推進を目指す。		
22	福祉教育の推進	小・中学校、大学、企業等からの依頼により、福祉全般に関する教育を実施します。			利用団体 ・小学校 8校 ・中学校 4校 ・大学 1校	・小学校 12校 ・中学校 3校 ・専門 1校 ・大学 2校 ・ひまわりクラブ 1クラブ	利用団体 ・小学校 9校 ・中学校 3校 ・高校 1校 ・専門 1校 ・大学 1校	利用団体 ・小学校 8校 ・中学校 3校 ・大学 1校	学校現場での「総合的な学習の時間」における多様な学びの中から、福祉や災害をテーマとした支援依頼が増加している。		
23	おもいよりのひとかき運動	主要な場所に除雪用のスコップを設置し、バスや信号待ちの人達から、ひとかきの除雪に協力していただく運動です。			設置箇所 98ヶ所	設置箇所 98ヶ所	設置箇所 97ヶ所	設置箇所 100ヶ所	西区は、市内で最大の設置数。広報周知など今後とも新潟市と設置地区主導のなか、協力して運動を展開。		

<基本目標2 安心・安全に暮らせる地域づくり>

No	取り組み	取り組み内容	担当部署	目標値 (H32)	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	事務局 コメント・課題等	委員会 コメント・課題等
1	高齢者等あんしん見守り活動事業 (再掲)	見守り支援体制に不安を抱えている自治会に対し、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどと協働で、地域の事情に合った見守り体制の構築を支援します。	西区健康福祉課 地域福祉係 西区社会福祉協議会	事業活用自治会 (累計) 50自治会	事業活用自治会 (累計) 11自治会	事業活用自治会 (累計) 17自治会	※平成27年度をもって事業終了。 今後は平成29年度からの介護予防・日常生活支援総合事業を活用していただくなど引き続き事業を継続していただく。		地域の見守り活動につながるよう、ご近所による見守りや声かけなど、地域でのつながりやささげ合いを支援できた。	
2	高齢者孤立防止訪問事業 (再掲) (旧名称:「孤立ゼロ作戦訪問事業」 H29年度から変更)	75歳以上の高齢者のみ世帯で一人暮らしになった人を専門職が訪問し、保健指導及び孤立防止のための支援をします。	西区健康福祉課 地域保健福祉担当	介護保険サービスや民生委員・児童委員等との関わりのない全世帯を訪問	訪問世帯 384世帯	・年度内に新たに75歳以上となる単身世帯: 143世帯 ・介護サービス等を受給していない75歳以上のみ世帯: 459世帯	・年度内に新たに75歳になる単身世帯の熱中症予防訪問: 196世帯 ・介護サービス等を受給していない75歳以上のみ世帯: 訪問235世帯, 郵送609世帯	①同居者の死別などにより一人暮らし移行者から包括のかかりや介護保険利用者を除いた対象者157人 ②民生委員による情報提供対象者14人 合計163人に対し訪問等支援を実施。	・対象者163人中、孤立該当者12人、うつ項目該当者が17人であった。 ・専門職による受診勧奨や家族・地域との交流促進、あんしん連絡システムの利用のすすめなどを行い、孤立やうつ傾向の改善に向けた効果的な支援ができた。 ・課題として、80歳以上の高齢者は地域との交流を望まない、望んでも歩いて行ける茶の間がないなどがあった。	
3	避難行動要支援者対策 (旧名称:「災害時時要援護者対策」 H29年度から変更)	高齢者や障がい者、要介護者など災害時に自力で避難することが困難な方を対象として、避難行動要支援者名簿を作成し、地域の自主防災組織や援護体制の整った自治会、町内会等援護する方に配布し、災害時に地域で支援する体制を確立します。	西区健康福祉課 地域福祉係 西区総務課 安心安全係	自主防災組織 結成率 90%	自主防災組織 結成率 87.2%	自主防災組織 結成率 87.3%	自主防災組織 結成率 87.2%	自主防災組織 結成率 89.3%	自主防災組織の結成率は、地域の事情もありほぼ横ばいとなっている。未結成地域の援護活動が課題。	
4	障がい者の通所施設における夜間支援事業	障がい者の通所施設において、当該事業所を使い慣れた利用者が家族の急病など緊急時に限り、宿泊の利用を実施します。	西区健康福祉課 障がい福祉係		受入可能施設 2施設 (市内で5施設)	受入可能施設 2施設 (市内で5施設)	受入可能施設 2施設 (市内で5施設)	受入可能施設 2施設 (市内で5施設)	いざという時の家族の安心感が大きい。受け入れ可能施設を増やしていくことが課題。	
5	夕食宅配サービス事業	概ね65歳以上の方で、ひとり暮らし又は高齢者のみ世帯に対し、夕食の提供と安否確認を実施します。			配食世帯 延べ161世帯 配食数 延べ2,223食	配食世帯 延べ157世帯 配食数 延べ2,496食	配食世帯 延べ159世帯 配食数 延べ2,582食	配食世帯 延べ48世帯 配食数 延べ878食	民間の配食業者数も増えサービスが充実している中で、委託業者が平成29年10月末日をもって受託取り止めを申し出。民間業者による供給が充足していることから、同日をもって事業廃止。	
6	緊急情報キット配布事業	70歳以上の高齢者又は障がい者で健康上不安のある方や、地域で見守りが必要とされる方を対象に、病気や服薬、緊急連絡先などを記載できる情報用紙及びそれを入れる筒を、自治会・町内会経由で配布します。		配布件数 2,000件	配布件数 2,417件	既配布件数 2,735件	既配布件数 2,795件	既配布件数 3,066件	緊急情報キットの配布は、住民主体による見守り活動の増進を図る目的のため、自治会・町内会経由で取りまとめ、配布を依頼。	
7	災害に対するボランティア研修	災害ボランティアセンターの意義や役割を知り、立ち上げの訓練を行ったり、平常時の取り組みについて学んでもらう研修会を開催します。	西区社会福祉協議会		開催数 1回 参加者 37人	開催数 2回 参加者 83人	開催数 1回 参加者 30人	開催数 1回 参加者 35人	平成29年度は、ボランティアセンタースタッフ育成のための設置訓練を新潟国際情報大学にて実施。また、新たに各コミュニティ協議会・民生委員児童委員協議会にも参加を呼び掛けた。	
8	災害ボランティアセンター連絡会議	ボランティアセンター設置訓練を企画実施し、災害ボランティアセンター設置マニュアルの見直しや、平時からの連携を深めます。			開催数 3回	開催数 2回	開催数 1回	開催数 0回	新潟青年会議所等の関係機関と、平時から顔が見える関係づくりを目指しての情報共有が目的。	
9	日常生活自立支援事業	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方の福祉サービス利用を援助します。			契約者 34人	契約者 40人	契約者 35人	契約者 40人	経年により、困難事例を抱える場面が見受けられるので、丁寧なアセスメントと関係者間での定期的なカンファレンスが必要。	
10	生活福祉資金貸付事業	高齢者世帯、障がい者世帯、低所得者世帯を対象に、自立や社会参加のための資金の貸付を行います。			貸付件数 10件	貸付件数 3件	貸付件数 5件	貸付件数 5件	貸付決定に至らないまでも潜在的ニーズもかなり予測されることから、生活困窮者自立支援事業や生活保護制度との連携を図りながらの事業展開を進める。	

<基本目標3 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり>

No	取り組み	取り組み内容	担当部署	目標値 (H32)	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	事務局 コメント・課題等	委員会 コメント・課題等
1	健康相談, 健康教室 事業	保健師, 栄養士などによる各種健康相談, 健康教室を実施します。	西区健康福祉課 健康増進係	参加者 延べ8,000人	開催数 343回 参加者 延べ7,542人	開催数 376回 参加者 延べ7,841人	開催数 376回 参加者 延べ8,185人	開催数 494回 参加者 延べ10,415人	課で企画した健康相談の他に, 地域からも依頼があり, 依頼内容に対応した教室を実施している。	
2	ウォーキング講習会	ウォーキングの基本的な学習と実技, 継続のための工夫について学ぶ講習会です。		参加者 延べ200人	開催数 11回 参加者 延べ219人	開催数 11回 参加者 延べ304人	開催数 12回 参加者 延べ300人	開催数 15回 参加者 延べ556人	ウォーキングの基礎を啓発し, ウォーキング継続のきっかけとしている。平成29年度は, フォローアップ教室参加者が, 西区ウォークにも参加した。	
3	自らすすめる健康づくり教室※H28~ 「自ら続ける健康習慣~健康へのナビガイド」として実施	地域団体からの依頼で出張して行う教室で, 計測, 食事の講義, 運動実技, 歯科指導を実施します。		開催数 10回 参加者 243人	開催数 9回 参加者 235人	開催数 14回 参加者 391人	開催数 12回 参加者 353人	平成29年度は, 新規の団体2か所であったが, リピーターの団体も講座内容を運動または歯科の選択ができることで, 満足度が高い講座となっている。		
4	健康フォーラム	食育SATシステム(栄養バランス診断)などの内容を, イベント形式で実施します。		開催数 1回 参加者 88人	開催数 1回 参加者 143人	開催数 1回 参加者 155人	開催数 1回 参加者 188人	食育SATシステムを使用し, 楽しみながら食育について学んでもらっており, 好評である。		
5	生きがい対応型通所 事業(ふれあい ティールーム)	介護予防と社会参加の促進を目的とした高齢者のサロンで, 茶話会を中心として様々なプログラムを実施します。	西区健康福祉課 地域福祉係	利用者 アンケート 満足度80%	開催数 510回 参加者 4,221人	開催数 514回 参加者 4,337人 H28.3にアンケート調査を実施	開催数 511回 参加者 4,235人 H29.3にアンケート調査を実施	開催数 490回 参加者 3,618人 H30.3にアンケートを実施	利用者満足度: 満足(やや満足含む) 37.3% 会場の設備 (68.7%) プログラムの内容 45.8% (74.7%) 利用料金 (98.8%) 職員への対応 84.3% (89.2%)	
6	地域の茶の間利用者の バスツアー	西区内の施設, または新潟市内の健康福祉に関する施設を区のバスで巡り, その後, 保健師等による健康相談, 介護予防教室を開催します。	西区健康福祉課 地域福祉係		利用団体 11団体 参加者 232人	利用団体 15団体 参加者 331人	利用団体 18団体 参加者 444人	利用団体 19団体 参加者 386人	地域の茶の間の開設増加に伴い, はじめてバスツアーを利用する団体が5団体あった。利用者からは好評であり, 次年度も同程度の予算を確保し, 継続していきたい。	
7	高齢者の体操教室 ※H28~は自主活 動支援のみ	地域の高齢者が利用しやすい老人憩いの家等で実施する体操教室で, 自主グループの育成も支援します。	西区健康福祉課 健康増進係		開催数 32回 参加者 297人	開催数 42回 参加者 370人	開催数 35回 参加者 296人	開催数 32回 参加者 271人	平成25年度から3年間教室を実施し, 立ち上げた老人憩の家8か所の自主グループを支援したほか, 総合事業の通所型サービス「高齢ますます元気教室」より, 新たに2か所の自主グループを立ち上げ, 活動支援を行った。	
8	高齢者転倒予防教室 ※H28~「にし チャレ」のロコモ予 防講座として実施	民間委託の教室で, 転びやすくなったことを自覚する65歳以上を対象とした教室です。		開催数 24回 参加者 265人	開催数 24回 参加者 230人	開催数 4回 参加者数 130人	開催数 6回 参加者数 176人	教室終了後, 3つのグループが委託先の教室に継続して参加し, 自主活動を実施している。平成27年度で終了し, 平成28年度からは, 「にしチャレ」の中でロコモ予防講座として実施。		
9	認知症予防教室	認知症予防のため, 読み書き, 計算など脳の活性化をはかる教室です。		参加者 延べ400人	※H27~	開催数 23回 参加者 482人	開催数 23回 参加者 537人	開催数 23回 参加者 358人	6月から12月まで毎週1回通所し, 読み書き, 計算などを小グループで実施。定員が30名と少数であり, 参加者の満足度は高かった。	
10	育児相談会	保健師, 栄養士, 歯科衛生士による育児相談会を実施します。			開催数 62回 参加者 2,080人	開催数 62回 参加者 2,175人	開催数 81回 参加者 2,417人	開催数 80回 参加者 2,332人	課で企画した育児相談の他に, 地域, 子育て支援センター等からも依頼があり, 依頼内容に対応した相談を実施している。	
11	イオン社協のひろば	イオン新潟青山店のコミュニティ広場を会場に, 認知症, 傾聴, 健康, 趣味, 生きがいなど, 様々なテーマでひろばを開催します。(毎週第3火曜日の午後)	西区社会福祉 協議会		開催数 12回 参加者数 218人	開催数 12回 参加者数 332人	開催数 11回 参加者 317人	開催数 11回 参加者 433人	人気の講座を複数回開催するなど参加者数の増に努めた。	

<基本目標4 みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり>

No	取り組み	取り組み内容	担当部署	目標値 (H32)	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	事務局 コメント・課題等	委員会 コメント・課題等
1	広報紙「西区役所だより」発行	健康診断、各種検診のお知らせのほか、予防接種、育児相談、健康教室などの案内や公民館講座などを掲載します。点字版や音声版も毎月発行しています。	西区地域課 広報・広聴担当		毎月第1・3日曜発行（新聞折込、希望者には郵送） 約54,000部	毎月第1・3日曜発行（新聞折込、希望者には郵送） 約54,000部	毎月第1・3日曜発行（新聞折込、希望者には郵送） 約54,000部	毎月第1・3日曜発行（新聞折込、希望者には郵送） 約54,000部	毎月第1・3日曜発行（新聞折込、希望者には郵送） 約54,000部	毎月第1・3日曜発行（新聞折込、希望者には郵送） 約54,000部
2	西区子育て情報誌「hug kumi（はぐくみ）」発行	NPプログラムの受講者を編集委員として、親子の居場所や子育て支援センターの情報、先輩の体験談など、子育て中に知りたい情報をまとめ、発行しています。	西区健康福祉課 こども支援係		vol.2発行 発行部数 5,000冊	vol.3発行 発行部数 5,000冊	vol.4発行 発行部数 5,000冊	vol.5発行 発行部数 5,000冊	より多くの人に手に取ってもらうよう、設置個所を増設した。	
3	NPプログラム、BPプログラムなど、育児支援講座の実施（再掲）	子育てに不安を感じている親同士が学ぶ講座を実施し、育児の不安、孤立感の軽減や仲間づくりを支援します。		参加者 50組	参加者 48組	参加者 80組	参加組 248組	参加組 170組	育児の不安、孤立感の軽減や仲間づくりの支援が図られている。	
4	障がい者基幹相談支援センター事業	地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを西区役所内に設置（西区と西蒲区所管）し、相談支援体制を強化します。（市内に4か所設置）	西区健康福祉課 障がい福祉係		支援件数 2,699件 (H26.10～H27.3)	支援件数 6,083件 (H27.4～H28.3)	支援件数 7,604件 (H28.4～H29.3)	支援件数 5,953 (H29.4～H30.3)	困難ケースや複合的な課題のあるケースなどについて、総合的・専門的な相談支援を実施。	
5	味な西の祭	西区の障がい者福祉施設などが中心となって開催する地域交流イベントです。施設で作った食品や作品の販売、展示やステージ発表など、様々な企画を行います。		参加団体数 18団体	参加団体数 17団体	参加団体数 14団体	参加団体数 16団体	より多くの方から障がい福祉施設やその活動等について理解を深めてもらうため、平成29年度は、西区内の障がい福祉施設等で構成された「共に生きる西区をつくる会」として、「西区ふれあいまつり」に参加。誰もが気軽に参加できる、新聞紙などを利用したワークショップや障がい福祉施設によるパレード等を行った。		
6	世代間交流促進、高齢者見守り啓発事業	児童に高齢者に関する認識を高めてもらうため、小・中学校において高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座を開催します。	西区健康福祉課 高齢介護係	西区の全小学校で開催（認知症サポーター養成講座）	開催校 3校	開催校 5校	開催校 6校	開催校 11校	新規7校を含む計11校において実施（中学校1、小学校10）実施校の増加に向けて、小・中学校への更なる働きかけを行う。	
7	機関紙「西区社協だより」発行	区社協事業の紹介、イベント等を定期的に案内します。	西区社会福祉 協議会		年2回配布 (自治会経由)	年3回配布 (自治会経由)	年2回配布 (自治会経由)	年2回配布 (自治会経由)	平成29年度は、7月と3月に発行。各自治会宛てに世帯数配布または班数回覧を依頼。	
8	ボランティア・市民活動センター情報紙「ぼらちゃん」発行	ボランティアに関する情報・講座開催案内などを掲載します。		年3回 各2,000部発行	年3回 各2,000部発行	年3回 各2,000部発行	年2回 各2,000部発行	年2回 各2,000部発行	平成29年度は、6月と12月に発行。区内の官公庁、ボランティア団体、賛助会員、施設などに配布。	
9	新潟市高齢者あんしん相談センター西	介護、暮らし、保険、住まい等、高齢者に関するあらゆる悩みごとに対する相談窓口を設置します。		相談件数145件 ・来所 86件 ・電話 59件	相談件数264件 ・来所 155件 ・電話 109件	相談件数236件 ・来所 115件 ・電話 121件	相談件数214件 ・来所 89件 ・電話 125件	相談件数214件 ・来所 89件 ・電話 125件	平成29年度は、通常相談の他に公開講座を西区と西蒲区で2回ずつ開催し、市民の介護予防等に努めた。平成30年度より、「新潟市高齢者あんしん相談センター」に事業統合。	
10	コミュニティソーシャルワーク事業	制度の狭間にある世帯、複数の問題を抱える世帯等に対して、専門職との連携を進め、地域の協力を得ながら、課題解決に向け支援します。		相談件数1,081件 ・来所 420件 ・電話 612件 ・訪問 20件 ・文書等 29件	相談件数 861件 ・来所 353件 ・電話 454件 ・訪問 19件 ・文書等 35件	相談件数884件 ・来所 309件 ・電話 503件 ・訪問 12件 ・文書等 33件	相談件数540件 ・来所 163件 ・電話 362件 ・訪問 11件 ・文書等 4件	相談件数540件 ・来所 163件 ・電話 362件 ・訪問 11件 ・文書等 4件	平成29年度は、集計基準の見直しにより件数は減であるが、初回相談から継続支援にあたる件数は増加している。	
11	ボランティア・市民活動相談	ボランティア、市民活動、福祉教育の相談などに幅広く応じます。		相談件数 471件	相談件数 659件	相談件数 307件	相談件数 114件	相談件数 114件	今後も相談窓口としての周知を進め、多様な活動内容・活動先の調査・研究などへの把握を務める。	
12	ボランティア活動振興事業	福祉教育支援者交流会、受入施設研修会を開催します。		開催数 2回 参加者 各50人	開催数 2回 参加者 89人	開催数 3回 参加者 116人	開催数 2回 参加者 75人	開催数 1回 参加者 14人	平成29年度は、受入施設研修会のみで開催。西区、南区、西蒲区の3区合同で実施。参加者数は、西区部分のみ。	
13	ボランティア講座	ボランティア入門講座、傾聴ボランティア講座、介護講座などの各種講座を開催します。			開催数 12回 参加者 215人	開催数 11回 参加者 153人	開催数 6回 参加者 192人	開催数 5回 参加者 52人	地域で活躍できる人材を育成することを目的とし、学びを深め、今後の活動に繋がるようフォローアップ研修も含めて企画開催する。	